第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート 評価対象年度 令和元年度

施策	コード	341	施策	健康づくりの推進	
管理	事業	成人	保健事業	2 枚のう	ち 1 枚目
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
1	結核検診	事業	保健センター	結核の早期発見のため、65歳以上の市民を対象に市内協力医療機関において胸部エックス線直接撮影の検診を実施。	事業全体が法定事 務
決領	算額(事業費)		呼価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の
., .,		│□ 市民二 │□ 有効性	.一ズ、社会的役割 :		方向性 方向性
令和	元 年度	□ 効率性			
	(千円) 33,298	□ 公平性 □ 持続可			継続
	აა,290	※課題がある			
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
_				健康増進法に基づき、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳が	事業の一部が法定
2	がん検診		保健センター	ん検診を市内医療機関等において実施。	事務
決算	算額(事業費)		評価の視点 .ーズ 、社会的役割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・がんによる死亡者を減らすためには、がんの早期発見・早期治療に繋げる必要があるこ	今後の とか 方向性
令和	元 年度	□ 有効性	<u> </u>	ら、検診受診率の向上及びがん検診の精度管理が必要である。 ・令和元年度より胃がん検診に胃内視鏡検査を新たに追加した。また、国の指針の一部は	
INTH	(千円)	□ 効率性 □ 公平性		に伴い、令和2年度より胃がん検診の対象年齢を現行の35歳以上から50歳以上に引き上	
	294,250	■ 持続可	能性	行った。 ・乳がん検診においては、二次読影にかかる事務改善を図るために、令和3年度中のマン	•
		※課題がある	ものは■	ラフィのデジタル化に向けて調整、検討中。	
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
3	成人歯科健調	診事業	保健センター	満30歳以上の市民及び満15歳以上の障がい者を対象に、市内協力医療機関において歯科健康診査及び歯面清掃を実施。後期高齢者医療保険加入者の市民が、本市で後期高齢者医療の歯科健診を受診した場合は、本市独自でPMTCを実施。	事業の一部が法 定事務
決賃	草額(事業費)		呼価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の
		■ 市氏― □ 有効性	.ーズ、社会的役割 :		方向性
令和	元 年度	□ 効率性		・健康づくり、介護予防において大切である豊かな食生活を送るためには、 や歯ぐきの健康は欠かせないものであり、市民ニーズは高く、継続実施が!	.לי.
	(千円) 131,239	□ 公平性 ■ 持続可		要である。	継続
	101,200				
		※課題がある	ものは		
	事業名	水味超がめる	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
4	事業名骨粗しょう症様			事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等 において骨量測定による検診を実施。	実施区分 事業の一部が法定 事務
	骨粗しょう症検	診事業	所管室課 保健センター 不価の視点	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等	事業の一部が法定事務 今後の
決算	骨粗しょう症検	診事業 ■ 市民二	所管室課 保健センター F価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。	事業の一部が法定 事務
	骨粗しょう症検 算額(事業費) 元 年度	診事業	所管室課 保健センター 評価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性
決算	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円)	意診事業 ■ 市民二 □ 効率性□ 公公平性□ 公公平性□ 公公平性□ 公公平性□ ○ 公子性□ ○ 公子性□ ○ 公子性□ ○ 公子性□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	所管室課 保健センター 呼価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性
決算	骨粗しょう症検 算額(事業費) 元 年度	診事業 ■ 市民二 □ 有効性 □ 効率性	所管室課 保健センター 呼価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性
決算	骨粗しょう症核 算額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257	章診事業 民効率平性可以	所管室課 保健センター F価の視点 一ズ、社会的役割 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 組 継続
令和	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257	意診事業 ■ 市有効率性の □ 公持続る ※課題がある	所管室課 保健センター 呼価の視点 一ズ、社会的役割 に に 能性 ものは■	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取りが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	事業の一部が法定 事務 一 今後の 方向性 組 継続 実施区分
令和	骨粗しょう症核 算額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257	意診事業 ■ 市有効率性の □ 公持続る ※課題がある	所管室課 保健センター F価の視点 一ズ、社会的役割 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取りが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 組 継続
決 算 令和 (5)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257	章診事業 ■ 市有効率円続のる 一□□□□※課題がある 本事業	所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割 に に に に に に きのは 所管室課 保健センター	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 組 継続 実施区分 市が独自に実施して いる事務 今後の
決 (字和 (字) (字) (字)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費)	診診 ■□□□□※ 査 ■□□□□※ 素 民効率平代ある 第三 一 円 乗題 事 市 有効 公持 が 業 民 対 性 性 可る 第三 一 世 和 大	所管室課保健センター 平価の視点 一ズ、社会的役割 に能性 ものは 所管室課 保健センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健履	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の 方向性
決 算 令和 (5)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度	事	所管室課保健センター 「一で現点 一ズ、社会的役割 「能性ものは」 「所管室課 保健センター 「保健センター 「一で現点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取りが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健履保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成2	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の 方向性 の 28
決 (字和 (字) (字) (字)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費)	章	所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは 所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健履	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の 方向性 の 方向性 ほの 28
決 (字和 (字) (字) (字)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円)	事	所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは 所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取らが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成と年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を固	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の 方向性 の 28
決 (字和 (字) (字) (字)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円)	章	所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは 所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取らが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成と年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を固	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の 方向性 の 28
決 (字和 (字) (字) (字)	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円) 39,380	事	所管室課 保健センター F価の視点 一ズ、社会的役割 「能性 ものは■ 「保健センター F価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取らが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成。年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を関め要がある。	事業の一部が法定 事務 今後の 方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今方向性 の 28 図る 継続
決算 令和 (5) 決算 令和	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 (千円) 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円) 39,380 事業名 聴力検診	章 □□□□□※ 事 市有効公持題 事 市有効公持題 事 市有効公持が 業 民効率平続が 業 民効率平続が 第 正対性性何る 語二性性性何る	所管室課 保健センター 「一でででである」 「一ででである」 「一でである」 「作性ものは」 「所管室課 「保健センター」 「一ででである」 「一でである」 「一でできます」 「作性ものは」 「所管室課 「保健センター」 「保健センター」 「「一でできます」 「保健センター」 「「一でできます」	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成と年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を歴史がある。	事業の一部が法定 事務の一部が法定 事務の作 組 継続 実施区字施して に実務の方向性 を
決算 令和 (5) 次算 令和 (6) 決算	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円) 39,380 事業名 聴力検診事業費)	ままれる。	所管室課 保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割 「能性ものは」 「保健センター 「価の視点 ・一ズ、社会的役割 「能性ものは」 「作管室課 「保健センター 「保健センター 「作品」 「作管室課 「保健センター 「作品」 「「作客」 「「「「ででです」 「「「「ででです」 「「「でです」 「「「でです」 「「「でです」 「「「できまり、「「できまり」 「「「できまり、」 「「「できまり、」 「「「できまり、」 「「「できまり、」 「「「できまり、」 「「「できまり、」 「「できまり、」 「できまり、」 「できまり、」 「できまり、」 「できまり、」 「「できまり、」 「できまり、」 「で	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健履保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成2年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を関め要がある。	事業の一部が法定 事務の一部が法定 事務の方向性 組 継続 実施区分 市が独自に実施している を
決算 令和 (5) 決算 令和	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円) 39,380 事業名 聴力検診事業者 元 年度	ま 日本	所管室課 保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れ必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健原年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者数は平成公安がある。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 満50歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関において検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・中高年層の難聴等を早期発見し、日常生活の質の向上を図るために有效	事業の一部が法定
決算 令和 (5) 次算 令和 (6) 決算	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円) 39,380 事業名 聴力検診事業費) 元 年度 (千円)	ま ■□□□□※	所管室課 保健センター 「一ズ、社会的役割」 「能性ものは」 「所管室課 「保健センター 「一ズ、社会的役割」 「能性ものは」 「「一ズ、社会的役割」 「能性ものは」 「「一ズ、社会的役割」 「作性ものは」	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取対必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成2年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を認め要がある。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 満50歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関において検診を実施。 事業相を(事業の具体的な内容を端的に記入) 満50歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関において検診を実施。	事業の一部が法定
決算 令和 (5) 次算 令和 (6) 決算	骨粗しょう症核 草額(事業費) 元 年度 10,257 事業名 30歳代健康診 草額(事業費) 元 年度 (千円) 39,380 事業名 聴力検診事業者 元 年度	ま 日本	所管室課 保健センター 「価の視点」で、社会的役割 「能性」ものは 「新管室課 保健センター 「価の視点」である。 「一ズ、社会的役割」 「能性」ものは 「一ズ、社会的役割」 「能性」ものは 「一ズ、社会的役割」 「作性」をの視点 「一ズ、社会的役割」 「には」 「一ズ、社会の役割」 「には、「一ズ、社会の役割」	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れ必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健原年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者数は平成公安がある。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 満50歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関において検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・中高年層の難聴等を早期発見し、日常生活の質の向上を図るために有效	事業の一部が法定

事業名	所管室課	事業名	所管室課
ペプシノゲン胃検診事業	保健センター		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート 評価対象年度 令和元年度

	コード	34	1	施策	健康づくりの推進	
管理	事業		成人	保健事業	2 枚のラ゙	ち 2 枚目
	事業名			所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
7	B型·C型肝 検診	炎ウィ	ルス	保健センター	40巻以上で当該検診主母診の市民を対象に、市内医療機関におい	事業全体が法定事 務
油 僧	類(事業費)		評	L F価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の
八 尹	千帜(于木具)		市民二 有効性	一ズ、社会的役割	・国は「肝炎ウイルスに感染しているものの自覚のない人が多数存在する」 推定し、少なくとも一生に一度は肝炎ウイルス検査を受診するよう、その対	
令和	元 年	夏□	効率性		を推進しているところであり、本市においても周知を図る必要がある。	來
	(千F		公平性	Ale bil	また、令和2年度の中核市移行に伴い、従前は保健所が担っていた肝炎ウ	
	3,096		持続可		ルス検査の対象年齢の拡大を行ったことから、新たに対象となった方への原知についても強化していく必要がある。	刮
	事業名		_	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
8	吹田市健 健診		寿	保健センター	後期高齢者医療健康診査の受診者を対象に、市内医療機関において、 で、貧血検査・生化学検査・心電図検査等の検査項目を加えて実施。	市が独自に実施し ている事務
決算	類(事業費)		- 評	価の視点 一ズ、社会的役割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の
			甲氏一 有効性		 ・後期高齢者健康診査に含まれていない検査項目を追加して検査を実施す	- <u>方向性</u> -る
令和	元 年月	Ž 🗆	効率性		ことは、高齢者の健康保持・増進に必要なものであり、疾患の早期発見にも	寄
	(千F		公平性 持続可		与するものであるため、継続実施が必要である。高齢化に伴い年々受診者 は増加している。	数 継続
	25,245		行		is tell nic C t vo。	
	事業名			正符字部	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	里振区八
	サ 未て			所管室課		実施区分
9	前立腺がん	検診		保健センター	施。	市が独自に実施して いる事務
決算	算額(事業費)	-	市民二	『価の視点 一ズ、社会的役割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の 方向性
令和	元 年月		有効性		・がん検診における国の指針には検診項目として含まれないものであるが、	73131=
ገን ተከ	, ,		効率性	=	接各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており、前立腺がんの早期	2 %
	(千F 25.472		公平性 持続可		見に寄与するものとして継続実施が必要である。	継続
	20,472		果題がある			
	事業名			所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
	在宅要介		IB		歯科診療所等に通院が困難な在宅要介護者・児の市民を対象に、歯	市が独自に実施し
10	はて安力 訪問歯科健原			保健センター	- 科疾患の早期発見、予防により口腔内の健康の維持及び改善を図る ため、訪問による歯科健診を実施。	ている事務
				<u> </u> 価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の
	算額(事業費)		市民二	一ズ、社会的役割		方向性
令和	元 年		有効性 効率性		 ・通院困難な要介護者・児が地域で安心して歯科健診が受けられる体制を	
	(千F					確
		9) 🗆	公平性	•	保するため、継続実施が必要である。	確 継続
	8,386		公平性 持続可	能性	保するため、継続美施が必要である。	
	8,386		公平性	能性	保するため、継続美施が必要である。	
	8,386	□ ※部	公平性 持続可	能性	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	
11)		□ ※部	公平性 持続可	能性 ものは■		継続
		※ 診	公平性持続可限がある。	能性 ものは■ 所管室課 『価の視点		寒施区分
決第	事業名		公平性持続可限がある。	能性 ものは■ 所管室課 「価の視点 一ズ、社会的役割	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
	事業名 算額(事業費) 元 年原		・	能性 ものは■ 所管室課 価の視点 ーズ、社会的役割	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	寒施区分
決第	事業名		・ 一	能性 ものは■ 所管室課 価の視点 ーズ、社会的役割	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	寒施区分
決第	事業名 算額(事業費) 元 年原		・	能性 ものは■ 所管室課 価の視点 一ズ、社会的役割 能性	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	寒施区分
決第	事業名 算額(事業費) 元 年度	######################################	・	能性ものは■ 所管室課 「価の視点 一ズ、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	実施区分
決第	事業名 算額(事業費) 元 年原	######################################	・	能性 ものは■ 所管室課 価の視点 一ズ、社会的役割 能性	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	寒施区分
決第	事業名 算額(事業費) 元 年度	######################################	・	能性ものは■ 所管室課 「価の視点 一ズ、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	実施区分
決算 令和 -	事業名 算額(事業費) 元 年度 (千月	######################################	・	能性ものは■ 所管室課 「価の視点 一ズ、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	実施区分
決算 令和 -	事業名 算額(事業費) 元 年度		・ 性可る	能性ものは■ 所管室課 「価の視点 ーズ、社会的役割 能性ものは■ 所管室課 「価の視点 ーズ、社会的役割	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決算 令和 -	事業名 算額(事業費) 元 年度 (千月		・	能性ものは■ 所管室課 価の視点 一ズ、社会的役割 能性ものは■ 所管室課 ・価の視点 ・ボッスを表している。 ・ボッスを表している。・ボッスを表している。 ・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。 ・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。・ボッスを表している。	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決第 令和 - 決第	事業名	E	(公持題 市有効公持題 市有効公 長効率平続が 民効率平続が 民効率平 長効率平 計二性性性可る 評二性性性	能性ものは■ 所管室課 「価の視点 ーズ、社会的役割 能性ものは■ 所管室課 「他の視点 ・「でする。」 ・「でする。 ・「でする。」 ・「でする。 ・「でする。」 ・「でする。」 ・「でする。 ・「でする。」 ・「でする。 ・「でする。」 ・「できる。」 ・「できる。。」 ・「できる。。」 ・「できる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決第 令和 - 決第	事業名 草額(事業費) 元 年原 (千原 事業名		・	能性 ものは■ 所管室課 「価の視点 ーズ、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決第 令和 - 決第	事業名		(公持題 市有効公持題 市有効公 長効率平続が 民効率平続が 民効率平 長効率平 計二性性性可る 評二性性性	能性 ものは■ 所管室課 「価の視点 ーズ、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分

事業名	所管室課	事業名	所管室課